

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、12～19℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の17%（前年を下回った）。五島奈留地区では、カタクチイワシが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の3倍（前年を上回った）。北松南部地区では、カタクチイワシが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の57%（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり211kgの水揚げで、前週の1.4倍。（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり9トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり974kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり23kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり118kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサなどが1日当たり123kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/29～3/4の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は2月末で漁期終了。
沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡周辺～鳥取沖に出漁。
鳥取県西部（沖合船）4日延38隻、総計4,144箱、1航海最高260箱、平均109.1箱。
スルメイカを中心に漁獲、魚体は20～25入り主体。
今期は山口沖、隠岐海峡周辺～鳥取沖が主漁場となった。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>